

愛 汗 喜 働

大野市小山小学校

1. 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項 目	回 数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回 (のべ) 8日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	60人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	40人
その他 ()	

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

①地域の伝統文化「鍬おどり」の披露

小山地区に永く伝わってきている鍬踊りを夏季休業中から地区の人々に指導していただいた。小山地区体育大会(3年生以上が参加)や地区敬老会(3年生が参加)で披露し、地域の方から賞賛された。



②地域の方と連携した畑づくり

4月から月に1回程度、地区の方と一緒にジャガイモやサツマイモなどの野菜作りを行った。作業を通して、地域の方の優しさに触れるとともに、農家の方の苦勞を知ることができ、子どもの心はとても豊かになった。



③カレーパーティーの実施

学校の畑で採れた夏野菜を使ってカレーを作り、普段お世話になっている方を招待して、一緒にカレーを食べた。その後、学年ごとに劇や合奏など学習発表会も行った。また、毎年行っている全校音読は体育館全体に声が響き渡り、招待者から絶賛された。

④いふりっこ祭りの実施

「おかげさま そして ありがとう」をテーマにして、普段お世話になっている人をお招きして、秋の一日を楽しく過ごすことができた。保護者や招待した方々が、子どもたちが考えた昔遊びのお店やゲームのお店等で楽しんでいらっしゃる場面をたくさん見ることができた。

2. 成果と課題

(1) 成果について

- ・地域・学校協議会のメンバーは普段から学校教育に対して深い関心を持っておられる。特に、畑作りにおいては、ほぼ毎月の活動に参加していただき、作物の作り方から畑作業まで丁寧に指導していただいた。学校と地域の連携が強固なものになるとともに、子どもたちとの世代間交流が活発に行われた。

(2) 課題

- ・活動がマンネリ化しないように工夫しながら、学校と地域が積極的に交流し、今後とも開かれた学校を推進していきたい。